

星病院は地域宝でありたい。

向河原という地名は、星瀬川の河原であることに由来するだろう。異常気象や気候温暖化、あるいは治水事業の怠慢のせいには出来ない。ここに病院を建てようとした僕の責任だ。

新病院が完成したとき「復興の砦」だなんて言っていたのに、濁流に囲まれたそれは、孤立した島になったように見えたのは事実だ。

それでも職員みんなの力で、という間に避難を終え、診療体制を回復し、どれだけの関係者を驚かせたことだろう。

水の被害は、思っていたよりも深く重いものだったが、その回復を多くの関係者の努力で成り遂げたことに心から感謝するとともに、誰ひとり逃げ出さずこの日を迎えられることを何よりも誇りに思う。地域に必要とされる病院を築きあげよう！

2020年6月25日 理事長 星代斗

台風災害復興記録誌の発行にあたり

公益財団法人 星総合病院
病院長 野水 整

令和元年10月、台風19号の水害により被災に至った地域の皆様、並びに当法人の関係団体や職員の皆様におかれましては、それぞれが復興に向け精魂を傾け、ご尽力されたことと存じます。改めまして、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

今回、星総合病院をはじめ大町キッズベースやポラリス保健看護学院など、地域の皆様に日頃よりご支援を頂いている当法人の幾つかの施設が被災し、しばらくの間、一部の機能を失い役割を果たせずにおりました。皆様に大変ご不便をおかけ致しました。

しかしながら、こうして約10ヶ月を経て、病院内外の施設・設備が復旧しましたのも、日頃よりお世話になっております企業団体をはじめ、郡山市内外、福島県内外を問わず、ご協力やご寄付を賜りました方々のお力添えがあったからこそと深く感謝しております。

郡山駅より北東約1kmに立地する星総合病院の北側には、東西に流れる逢瀬川があり、過去にも、大雨により道路が冠水する箇所が多くありました。しかし、今回の河川氾濫は想定を上回るものであり、瞬く間に星総合病院の1階が浸水しました。当時、1階に入院していた方々の避難の判断が遅れていただけでもさらに大きな被害になっていたことは否めません。しかしながら、一人も怪我人や病人を出さずにこの災害を乗り越えられることができたのも、早期に緊急防災対策会議を開き、災害対策本部の立ち上げと2次災害防止に向け、資源を最大限に発揮できた結果であると考えております。

8年前、東日本大震災で星総合病院が倒壊し、診療や入院機能が果たせなくなったときも職員一同が力を合わせ、翌日には、病院の外で外来対応ができるよう仕組みづくりを致しました。今回も、水害により外来者や入院者のニーズがどのように変化するか、医療水準を保つために必要な資源は何か、医療スタッフが治療やケアにおいて困ることは何か、など全員が知恵を絞り、専門的スキルを駆使して連携をとりながら、地域から期待される保健医療福祉事業の絶え間ない提供を実現することができました。

今回、被災から復興への記録誌は、災害を乗り越えてきた星総合病院がたどった軌跡を、将来に繋げるための財産として、発行しました。最後に、多くの方々のご支援・ご協力に重ねて深く感謝いたしますとともに、これからも地域の健康づくりをご提供する組織として精進してまいります。



台風19号を
乗り越えて



2019.10.12 令和元年東日本台風

—台風19号の接近とその被害—

10月11日(金)

14:00 緊急防災対策委員会

10月12日(土)

14:00 緊急防災対策委員会

16:00 災害対策本部設置

(患者移送目安:阿武隈川の
氾濫危険水位7.9mに決定)

17:30 川の水位:3m

18:30 川の水位:4.6m

19:50 川の水位:5.2m **福島県特別警報発令**

20:40 災害対策会議(1階入院患者の上階移送について協議)

20:56 1階入院患者の上階移送開始

(入院患者298名うち1階病棟患者34名移送)

22:00 川の水位:7.74m

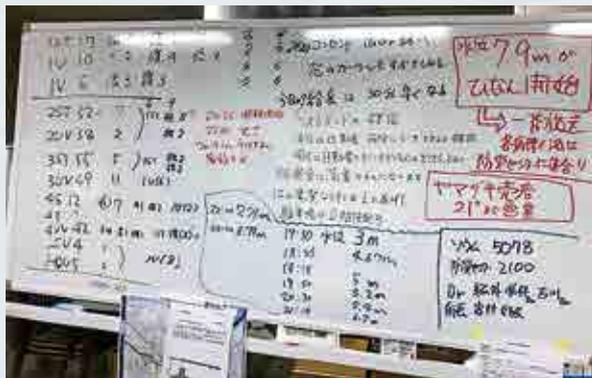
22:00 災害対策会議

(薬剤・非常食・リネン等の移動決定)

23:00 川の水位:8.79m

23:20 川の水位:9m

23:40 病院南側冠水(救急車受入れ中止)



10月13日(日)

0:00 1階稼働式ベッドの移動、洗面所・トイレの水嚢設置

0:20 川の水位:9.78m

1:30 病院内へ浸水

2:00 1階15cm程度浸水

2:45 1階電源落とす(緊急患者用に検査機器の1部は稼働)

3:00 川の水位:10m

4:00 **福島県特別警報解除**

**7:00 1階厨房浸水のため、2階レストラン厨房にて入院患者用朝食準備
エレベーター浸水のため、人力で4階病棟まで配膳**

8:00 災害対策会議(患者状況報告、被害状況の確認、職員の安否確認)
施設周辺冠水

10:00 災害対策全体会議(情報・課題の共有)

10:00 鹿島建設による水抜き作業開始

12:00 到着した職員・取引業者による清掃開始、エレベーター復旧作業開始



14:00 災害対策全体会議(被災状況・診療体制変更の周知方法)

16:30 郡山市保健所との意見交換(保健所長・理事長)

17:00 災害対策全体会議(各部署の状況報告、診療継続について協議)

10月14日(月・祝)

9:00 災害対策本部打ち合わせ

10:00 災害対策全体会議

(患者状況報告、被害状況・復旧状況確認、診療継続について協議)



外来診療体制整備

14:00 病棟中央エレベーター 4基中1基復旧

16:30 郡山市との情報交換(郡山市長・保健所長・理事長)

17:00 災害対策全体会議 臨時総合受付を設置し15日より1階外来で通常診療開始決定

18:00 救急エレベーター、外来エレベーター復旧

10月15日(火)

8:00 臨時の総合受付にて診療受付開始(連携医・他医療機関との連絡調整)

11:00 近隣避難所の支援開始(保健師・看護師による健康チェックと炊き出し)



10月16日(水)

8:00 再来受付機・自動精算機復旧、病院バス運行再開

11:00 1階厨房・病棟エレベーター全基復旧

12:00 大町キッズベースにて炊き出し開始



10月18日(金)

CT搭載車(自衛隊富士病院より)設置



10月22日(火)

救急指定日再開

10月28日(月)

胃透視検診バス(福島県労働保健センター)設置

11月9日(土)

自衛隊CT搭載車返還



12月16日(月)

MRI搭載車の設置

星総合病院浸水被害（マップ）



病院南側



救急外来前廊下



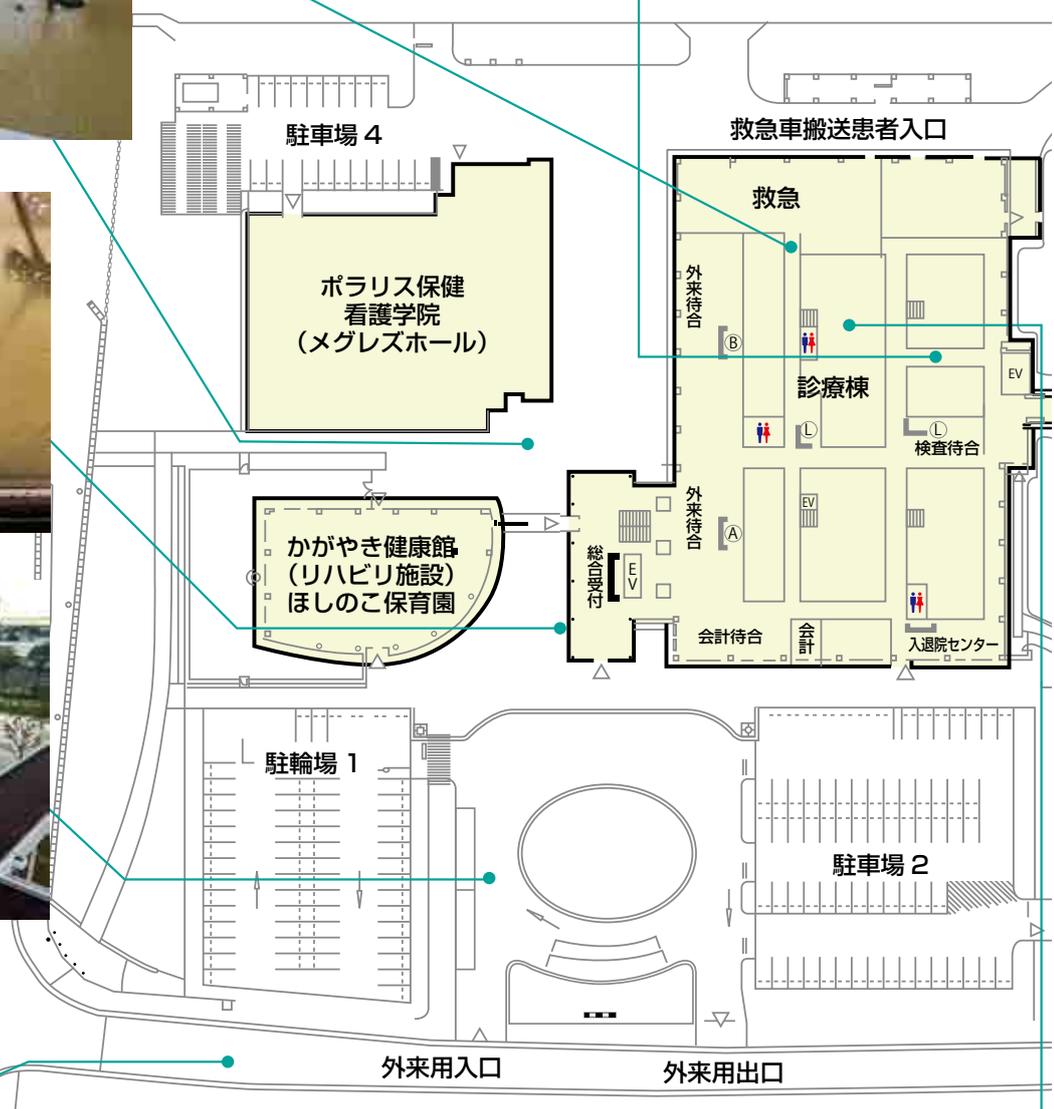
放射線科待合室



外来待合の外側



正面玄関前ロータリー



病院入口道路



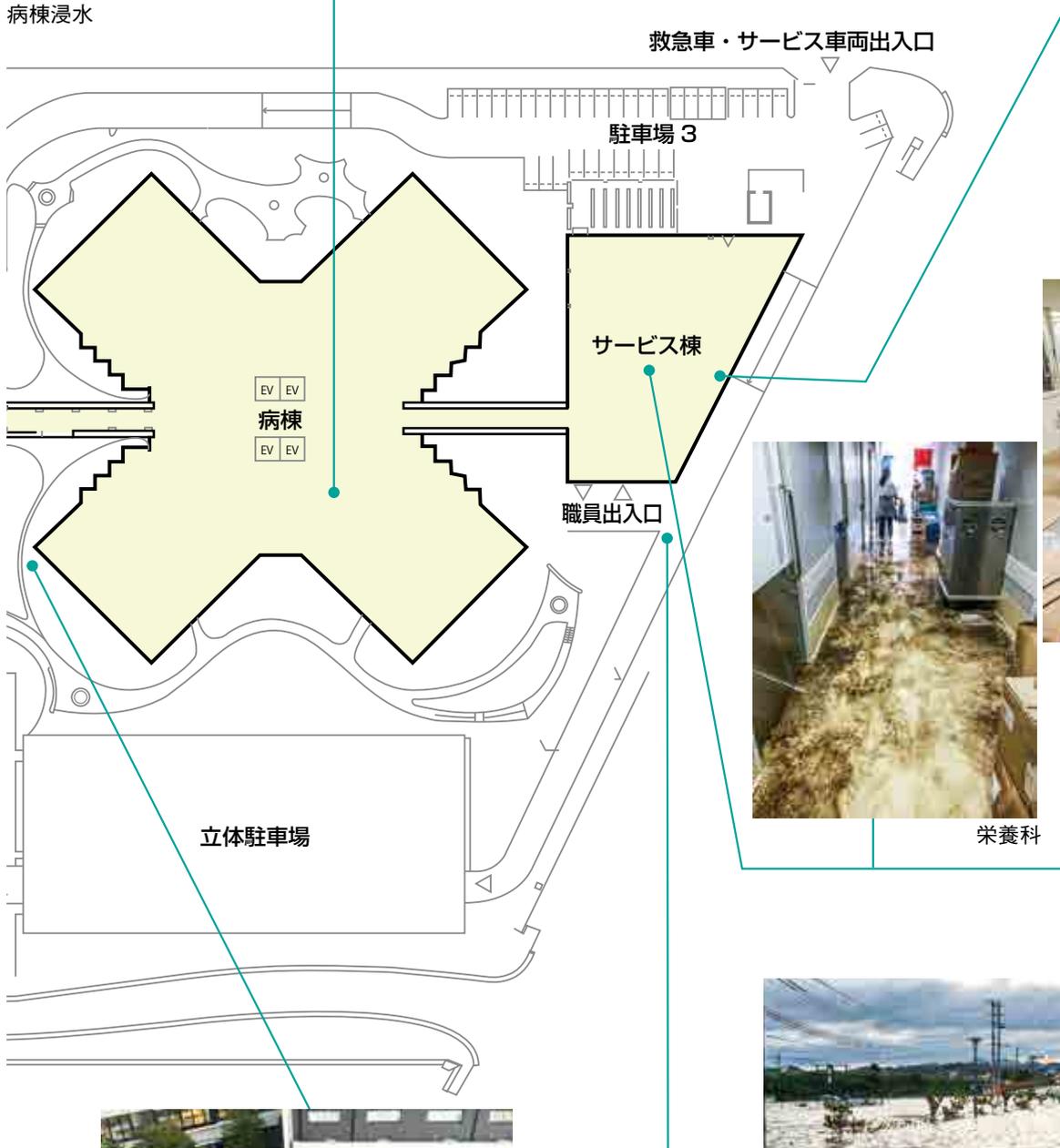
放射線科一般撮影室



病棟浸水



防災センター前



栄養科



病棟中庭



職員玄関前

令和元年東日本台風 災害復興記録誌

「台風19号を乗り越えて」

目 次

1. 台風19号について	1
2. 星総合病院概要・防災体制	5
3. 星総合病院被害状況	9
4. 台風発生からの出来事(時系列)	13
5. 復旧に向けて	19
1) 復旧事業の実施経過	
2) 恒久的な止水対策	
3) 放射線機器関係	
4) 地域への情報発信	
5) 地域支援活動	
6) 振り返り、反省、課題	
7) お見舞い、寄附	
6. 法人各施設の被害状況	51
7. 法人職員の被害状況と法人の対応	65
8. 星総合病院防災体制の再考	67